

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 招集について

- (1) 招集所は、北ゲート外側付近に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については次のとおりとする。
  - ① スタート(競技)地点集合時刻5分前までに招集所に掲示しているスタートリストに出場の○印を付け、集合時刻までに各自スタート(競技)地点に集合のこと。トラック競技に出場の競技者は、招集所で腰ナンバー標識を受け取ること。
  - ② 集合時刻に遅れた競技者は、出場できない。
  - ③ 2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が競技者係に用意した「2種目同時出場届」に記入し、1種目の招集時に招集所へ提出する。
  - ④ 欠場する者は、「欠場届」に必要事項を記入し、集合時刻前に招集所に提出する。

## 3. アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) アスリートビブス(ナンバーカード)は、折り曲げないで、ユニフォームの胸と背に確実に(4ヶ所、2点止め)但し、跳躍競技の競技者は、胸部又は背部のみでよい。
- (2) 1000m、3000mの競技は、別アスリートビブス(ナンバーカード)を使用するので、競技開始時刻1時間前までに招集所へ受取りにくること。腰ナンバー標識を2枚取り付ける。

## 4. 競技場内への入退場について

- (1) それぞれ現地集合となるので、特にフィールド内への移動の際は十分に注意すること。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従い退場する。

## 5. 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
  - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
  - ③ 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
  - ④ TR16. 8により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
  - ⑤ スタート時の不適切行為は、注意(グリーンカード)とする。但し、繰り返し行った場合は警告(イエローカード)の対象とすることがある。2度目の「イエローカード」が提示されると、「レッドカード」が提示され、その種目の出場資格は失う。それ以後の種目は出場権は失わないが、受けた「イエローカード」の累積はリセットされず、3回目の「イエローカード」を受けた場合もその種目は失格となる。
  - ⑥ 150m、ハードル種目は、予選・決勝を行い、それ以外はタイムレースとする。
- (2) フィールド競技について
  - ① 跳躍の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が準備したマーカーを2個まで使用することができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけサークル外側に使用することができる。
  - ② フィールド競技における競技場内での練習試技は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ③ フィールド競技の試技は走高跳、棒高跳を除き、トップ8で決勝を行う。
  - ④ 三段跳の踏切板は砂場から男子10m、女子9mの地点に設置する。
- (3) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することはできない。
- (4) 競技者は勝手に競技場所を離れることはできない。

## 6. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。

(ただし、天候等の状況により変更することもある)

種目	種別	練習	バーの上げ方			
走高跳	男子	1m50	1m55	1m60	1m65	以降3cmずつ上げる
	女子	1m30	1m35	1m40	1m45	以降3cmずつ上げる
棒高跳	男子	2m40	2m50	2m60	2m70	以降5cmずつ上げる
	女子	2m00	2m10	2m20	2m30	以降5cmずつ上げる

## 7. フィールド競技の計測について

フィールド競技では、下記の表に達しなくとも最初の有効試技を計測する。以後の試技で、前試技の距離または下記の記録に達しない場合は計測しない。

走幅跳	男子	5m50	女子	4m50
三段跳	男子	設定なし	女子	設定なし
砲丸投	男子	8m00	女子	9m50
円盤投	男子	15m00	女子	13m00
ジャベリックスロー	男子	25m00	女子	18m00

## 8. 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。

(2) 投てき競技の使用器具は次の通りとする。

男子	砲丸重量	5.000kg	男子	円盤重量	1.500kg
女子		2.721kg	女子		1.000kg

(3) ハードルの高さは次の通りとする。

男子	110mH	0.991m	9.14m
女子	100mH	0.762m	8.50m

## 9. 競技用靴について

(1) スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。

(2) 競技用靴についてはWAの新規定が適用される。

靴底の厚さは800m未満の種目は20mm、800m以上の種目は25mmまでとし、靴底厚計測は招集所にて実施する。

(3) フィールド競技に使用するシューズの靴底厚については、WAの新規定を適用しない。

## 10. 抗議について

発表された結果に対する抗議は、TR8. 2に定められている時間内(アナウンス後15分以内)に、競技者自身または、代理人が担当総務員を通じて審判長に対して口頭で行い、控室で裁定を聞く。さらに、この裁定に納得できない場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通じて文書で申し出る。

## 11. 表彰について

(1) 各種目3位までの入賞者には賞状を授与する。

(2) 記録会種目の第3位までの入賞者には記録証を授与する。

## 12. 一般注意事項

(1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、大会総務に連絡する。

(2) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。

(3) 大会期間中の貴重品の保管は、各自・各チームで行う。盗難にあっても責任は負わない。

(4) 記録はその都度発表するが、別に設置する記録掲示板に印刷物で掲示する。

(5) 記録証明書を希望する競技者は、500円を添えて申し込むこと。(庶務係まで)

(6) 提出書類は次の通りとする。

【配布場所】

[招集所] ⇒ 欠場届・2種目同時出場届・アップライト申告書

[総務] ⇒ 上訴申立書(預託金1万円)・記録証明書交付願

提出するもの	提出場所	提出時刻
欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻まで
アップライト申告書	招集所	招集開始時刻に
上訴申立書(預託金1万円)	担当総務員	競技規則第146条7による
記録証明書交付願	庶務係	各競技終了後随時(500円を添える)

### 13. 練習会場の使用について

(1) 練習はサブトラックで行う。投てきの練習については朝の競技場の開放時間の練習を含め、サブトラック、野球場での練習は一切禁止とし、競技時、本競技場に入ってから競技役員の指示により行う。

	本競技場の開放	補助競技場	棒高跳ピット
9/4(土)	7:30～ 9:00	7:30～ 14:00	7:30～ 9:00

(2) 本競技場での練習は次の通りとする。

① 競走路使用は原則として以下の通りとする。

- ・1～2レーン: 中・長距離
- ・3～6レーン: 短距離(スタートダッシュはホームストレート地点)
- ・7～8レーン(ホームストレート): 100mハードル・110mハードル